

第 20 回記念 埼玉県社会福祉士学会

会員同士で積み上げてきた本学会は、今年度第 20 回を迎えます。
第 20 回という節目を迎え、今回は従来の分科会に加え、記念シンポジウムを企画いたしました。奮ってご参加ください。なお、当日は午前中に総会も開催されます。

※社会福祉士会が行う学会への参加は、生涯研修制度 0.2 単位となります。
午前の総会からご参加の方も、必ず受付を行ってください。

日 時	2017 年 6 月 24 日 (土) 13:20~16:40 (受付…12:50)
会 場	一般財団法人 埼玉県勤労者福祉センター ときわ会館 〒330-0061 さいたま市浦和区常盤 6-4-21 (さいたま市役所西隣)
プログラム	<p>第 1 部：【分 科 会】 13:20~ 3 分科会 (発表者については裏面に記載しています。) 会員による多様な視点からの実践報告、研究報告。 ご自身の実践に活かせるヒントがあります。</p> <p>第 2 部：【記念シンポジウム】 15:10~16:40 社会福祉士の実践力向上を目指して ～本会の活動から考察する～</p> <p>〈シンポジスト〉 子ども家庭支援員会：吉永恵子氏 スクールソーシャルワーカーの養成・交流に取り組んで</p> <p>ぱあとなあ埼玉：澤村登之氏 成年後見人養成研修と受任者支援について</p> <p>生涯研修委員会：黒川康子氏 認定社会福祉士を目指すスーパービジョンを実施して</p> <p>〈コーディネーター〉 埼玉県立大学 朝日雅也教授</p>



【学会発表予定者】

氏 名	所 属	テ ー マ (仮テーマのため、今後変更の可能性あり)
近内 晴美	医療法人高友会 笠幡病院	これからの療養病院についての一考察
橋本 吉生 (共)	坂戸市障害者福祉課 (H28 年度 彩の国さいたま人 づくり広域連合「産民学官・政 策課題共同研究」研究員)	「サステイナブルタウン」を目指して —超高齢社会の包括的タウンマネジメント—
池田 美帆 (共)	高齢者・障害者 虐待対応専門職チーム委員会	虐待対応専門職チームに期待されている こと
松永 梢	アスポート相談支援センター 埼玉東部	生活困窮者自立支援事業の受託について 埼玉県社会福祉士会が担う支援
中土 純子	自立支援専門員	生活困窮者自立支援制度の成立過程に おける課題と社会福祉士の位置付けに ついて
栗原 直樹	元 十文字学園女子大学	韓国における児童虐待処罰法の運用に ついて
大野 健一	さいたま市 住宅ソーシャルワーカー	無料低額宿泊所からの地域移行・定着の 支援における住宅ソーシャルワークの機 能と役割

※共同研究発表については、氏名欄に（共）と記載しています。